



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社 ジェイテック  
 コード番号 2479 URL <https://www.j-tec-cor.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 村田 竜三  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6228-6463

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	680	8.5	21		16		12	
2020年3月期第1四半期	744	2.0	17	27.2	17	27.2	10	37.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 5百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 11百万円 ( 27.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	1.59	
2020年3月期第1四半期	1.24	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	1,801	832	46.2	105.83
2020年3月期	1,819	924	50.8	110.50

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 832百万円 2020年3月期 924百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		1.00	1.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの業績への影響について、現時点において算定することが困難な状況が続いているため未定であります。今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	8,572,400 株	2020年3月期	8,572,400 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	702,800 株	2020年3月期	203,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	8,045,879 株	2020年3月期1Q	8,569,600 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、日本国内も緊急事態宣言による事業者への営業自粛要請や外出自粛の影響などから、経済活動の急激な縮小が見られました。5月25日には緊急事態宣言が解除されたものの、感染拡大第2波への警戒から経済活動の全面的な再開は依然見通せず、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、6月までに当社グループのテクノロジストの派遣契約終了および契約の見直しの件数が相当数発生する可能性を見込んでいたものの、5月25日の緊急事態宣言の解除以降、当社顧客の新型コロナウイルス感染拡大への対応の変化や方針転換などが見られ、テクノロジストの稼働状況がどの水準で落ち着くのかについて、現時点で精度の高い見通しが出せない状況です。

当第1四半期においては、緊急事態宣言や外出自粛の影響により、国内外の新規顧客開拓や既存顧客のフォローを含む営業活動が大幅に制限されたものの、技術者へのニーズは継続しており、当社テクノロジストの平均単価は前年同期を上回る結果となりました。一方で、テクノロジストに対する在宅勤務、時差出勤、休業等の要請に伴う出勤日数の減少および残業の抑制が影響し、稼働人数及び労働工数が減少した結果、売上高は前年同期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、顧客需要や受注内容の変化に対応するための体制強化に伴う設備投資や、コロナ禍の中でも優秀な人材を獲得すべく、Webを活用した採用活動を最大限に実施しましたが、外出自粛に伴う営業活動の制限による旅費交通費、会議費等の減少と前期から推進している全社的な業務合理化の成果により、前年同期より減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高680,906千円(前年同期比8.5%減)、営業損失21,222千円(前年同期は17,385千円の営業利益)、経常損失16,141千円(前年同期は17,192千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失12,763千円(前年同期は10,655千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 技術職知財リース事業

技術者ニーズは引き続き高く、継続して契約単価の引き上げを促進したものの、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛要請が出され、当社グループのテクノロジストに対しても休業要請や残業抑制等があったことにより、稼働日数、稼働時間が減少し、事業全体の売上高と利益が減少した結果、売上高は667,664千円(前年同期比5.2%減)、セグメント利益は67,375千円(前年同期比35.8%減)となりました。

## ② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

主に、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛要請が出されたことや3密を回避するため、住宅展示場等における着ぐるみスタッフやプラカード案内等の取引が休止または大幅に減少した結果、売上高は13,242千円(前年同期比67.0%減)、セグメント損失は1,526千円(前年同期は6,019千円のセグメント利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は1,801,431千円となり、前連結会計年度末より18,197千円の減少となりました。これは主に売掛金の減少68,598千円によるものであります。

負債合計は968,574千円となり、前連結会計年度末より73,747千円の増加となりました。これは主に未払費用の増加154,747千円、未払法人税等の増加15,591千円によるものであります。

純資産合計は832,856千円となり、前連結会計年度末より91,945千円の減少となりました。これは主に自己株式の取得による減少78,433千円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上12,763千円によるものであります。この結果、自己資本比率は46.2%と前連結会計年度末の50.8%に比べ4.6ポイント下落いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月28日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、2020年5月11日に公表した業績予想について一度取り下げ、現時点で未定とし、合理的な予測が立ち次第、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を公表することいたしました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,203,365	1,216,233
売掛金	418,701	350,103
仕掛品	1,687	4,698
その他	41,710	43,060
貸倒引当金	△730	△731
流動資産合計	1,664,735	1,613,365
固定資産		
有形固定資産	14,772	14,227
無形固定資産	3,337	3,066
投資その他の資産		
敷金及び保証金	50,341	52,898
繰延税金資産	60,382	80,702
その他	26,059	37,169
投資その他の資産合計	136,783	170,771
固定資産合計	154,893	188,065
資産合計	1,819,628	1,801,431
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	146,208	146,208
未払金	62,970	61,344
未払費用	58,555	213,303
未払法人税等	6,518	22,110
未払消費税等	53,071	58,538
賞与引当金	152,485	81,603
その他	11,824	13,821
流動負債合計	491,635	596,929
固定負債		
長期借入金	216,046	179,494
退職給付に係る負債	187,145	192,150
固定負債合計	403,191	371,644
負債合計	894,826	968,574
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	261,834	261,834
資本剰余金	246,328	246,328
利益剰余金	450,056	428,924
自己株式	△28,645	△107,078
株主資本合計	929,574	830,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,458	21,919
退職給付に係る調整累計額	△20,229	△19,071
その他の包括利益累計額合計	△4,771	2,848
純資産合計	924,802	832,856
負債純資産合計	1,819,628	1,801,431

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	744,148	680,906
売上原価	546,165	526,290
売上総利益	197,982	154,615
販売費及び一般管理費	180,597	175,838
営業利益又は営業損失(△)	17,385	△21,222
営業外収益		
受取利息	—	0
受取配当金	146	138
受取補償金	—	3,848
助成金収入	—	1,972
その他	—	318
営業外収益合計	146	6,279
営業外費用		
支払利息	339	450
支払手数料	—	747
営業外費用合計	339	1,197
経常利益又は経常損失(△)	17,192	△16,141
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	17,192	△16,141
法人税、住民税及び事業税	22,279	19,793
法人税等調整額	△15,741	△23,171
法人税等合計	6,537	△3,378
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,655	△12,763
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	10,655	△12,763

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,655	△12,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	566	6,461
退職給付に係る調整額	△90	1,158
その他の包括利益合計	476	7,619
四半期包括利益	11,132	△5,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,132	△5,143
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月3日及び2020年5月11日の取締役会決議に基づき、自己株式合計700,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が78,433千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が107,078千円となっております。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定)

新型コロナウイルス感染症(以下、「本感染症」という。)の拡大により、全国的に外出自粛傾向が続いており、当社グループのテクノロジストの稼働率や稼働時間の低下などにより、売上高の減少等、当第1四半期連結累計期間以降の当社グループ業績への影響が見込まれますが、本感染症は経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、それが当社グループに及ぼす影響及び本感染症の収束時期を合理的に予測することは困難であります。

よって、当第1四半期連結累計期間における繰延税金資産の回収可能性の検討については、当第1四半期連結累計期間末時点において入手可能な情報から判断した結果、2021年3月末まで本感染症の影響が続くという仮定を置いて行っております。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	704,060	40,087	744,148	—	744,148
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	1,257	1,257	△1,257	—
計	704,060	41,345	745,405	△1,257	744,148
セグメント利益	104,944	6,019	110,964	△93,578	17,385

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△93,578千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	667,664	13,242	680,906	—	680,906
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	2,655	2,655	△2,655	—
計	667,664	15,897	683,561	△2,655	680,906
セグメント利益又は損失(△)	67,375	△1,526	65,849	△87,071	△21,222

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額(△87,071千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。